

令和7年度
軽井沢町地域公共交通計画策定支援業務
町議ワークショップ開催結果

令和7年（2025） 7月

1. ワークショップ概要

1.1. 開催目的

「軽井沢町地域公共交通計画」の策定に向けて、町議会議員の今後の公共交通の事業に関する要望等を把握するため。

1.2. 開催日時・参加者数等

開催日時：令和7年（2025）7月16日（水） 10:00～12:00

参加者：12名

特別講師：国立長野高専 都市デザイン系 轟直希准教授

1.3. 成果の概要

【目標①～④に対する事業内容へのご意見】

目標	主な内容
①	<ul style="list-style-type: none">・ドッグツーリズム対応のバス（犬同乗）・乗降スポットの柔軟化（例：ホテル前）・巡回型、ライドシェア型などの組合せ運用・季節による交通手段の調整（冬期・繁忙期など）
②	<ul style="list-style-type: none">・御代田・佐久地域へのアクセス手段整備・シャトルタクシーのルート化運行・ドア to ドア型サービスの拡充・スクールバスの複用や地域共用化の検討
③	<ul style="list-style-type: none">・ツルヤ軽井沢店前のバス停整備（屋根・イス）・デジタルサイネージ設置（公共施設・ホテル等）・運行状況のテレビ放映・観光・生活交通の乗換案内の明確化
④	<ul style="list-style-type: none">・鉄道・バス・自転車の IC 決済一元化・バス利用ポイントの導入による利用促進・国道等での自動運転バス運行の検討・運転手不足に対応する運用体制の構築

【その他、公共交通全体へのご意見】

内容の分類	主な内容
広域連携・ 町外アクセス強化	<ul style="list-style-type: none"> ・ 佐久地域や御代田への通院用デマンド交通の整備 ・ 町外にも行けるオンデマンド交通の整備 ・ 上信越自動車道スマート IC の整備
移動多様化と柔軟性	<ul style="list-style-type: none"> ・ シャトルタクシーをルート化して運行 ・ ドア to ドアの乗降スポット拡充 ・ 3 方式（ライドシェア・デマンド・巡回バス）の統合運用
新技術活用・交通 DX	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国道での自動運転バス運行検討 ・ サイネージによるバス情報提供（商業施設等） ・ 電子決済の統合（鉄道・バス・レンタサイクル） ・ 公共交通利用でポイント付与
交通施設の 快適性向上	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全バス停に屋根とイスの設置 ・ ツルヤ軽井沢店前のバス停整備 ・ テレビやサイネージでの運行状況の視認
観光ニーズ・ 地域資源対応	<ul style="list-style-type: none"> ・ 犬同乗可能な観光バスの導入（ドッグツーリズム） ・ E-bike と連携して町外アクセスを可能に

【今後の公共交通の利用意向】

内容の分類	主な内容
日常生活支援	<ul style="list-style-type: none"> ・ 御代田や佐久地域への通院手段として ・ 高齢者や子どもの生活圈移動への対応
観光・余暇活用	<ul style="list-style-type: none"> ・ E-bike やペットとの共乗で楽しむ観光交通 ・ 鉄道やバスと連携した「軽井沢らしい」周遊手段
健康・環境・交流の 促進	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公共交通や歩行の促進で生活の質向上 ・ 歩道整備により「歩くまち」に向けた整備を推進
広域連携の利用	<ul style="list-style-type: none"> ・ 町外と連携する広域 MaaS 的構想を意識 ・ 町民・観光客双方に利便性がある公共交通整備

2. 開催結果

2.1. 目標①～④の対策事例への要望

ワークショップでは、「参加者の普段の移動実態（休日の目的地・移動手段・時間帯など）」「手段などがないだけで本当は行ってみたい目的地」「公共交通が使えていない理由」「あってほしい・改善してほしい公共交通」について、公共交通路線網を参考にしながら、白地図へ書き込む形で意見の抽出を行った。その際に白地図へ記入された実態・要望等は次のとおりである。

【議員グループ1】

目標	記載した対策事例の内容に対するご意見	記載した対策事例以外で追加を望むご意見
①	<ul style="list-style-type: none"> ・町民、別荘、観光客は利用目的が違うため別々に考える ・バス路線の再編に向け、スーパーを中心にしたルート設定 ・発地市庭のイベント用乗り継ぎなしのバス運行（臨時便か？） ・デマンド 長距離移動を抑制する手段→鉄道に乗り継ぎ ・循環バスは利用者少ない便はなくすべき→その資源はデマンドに充てる ・新幹線の終電に接続するしな鉄 ・しな鉄の3つの駅を軸とした町内循環バス路線の構築 【軽井沢駅、中軽駅、追分駅】南北を走らせ区でバス停決定 	<ul style="list-style-type: none"> ・住民ニーズと観光ニーズを分ける→季節、週末用によるスモール（グリーン）モビリティ→車乗り入れの制限 ・観光客向けと町民向けのルートを別に考える
②	<ul style="list-style-type: none"> ・バスが遅れないよう小さいルート（短いルート）設定が必要 ・東・南廻り線を分割した場合にも備えて乗り継ぎ方法が良くわかるシステム→デジタルサイネージ→スマホで確認 ・佐久地域への通院について 朝夕のデマンドタクシーが必要 ・一人の高齢者 御代田の「つるや」への買い物は夏季の混雑期については西部地域は特にデマンドタクシーが必要 ・道路が狭いので小型のバスの導入 ・茂沢区などの空白地域はデマンドタクシーが必要だが、子どもの通学時に乗り合いでも可能ではないか 	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学生は居住地により通学にバスを使えない生徒がいる。必要とする全生徒を対象にしてバス利用方法を考える必要がある ・年齢別の公共交通の種類の使い分け ・複数の移動手段が望まれる ・バス停→学校 30分ルートの通学主体の循環バス（一般も利用可） ・自転車移動を促進するインフラ整備 ・夜間のデマンド Driver はライドシェアで確保 ・バス乗り場だけでなくどこでも乗れるシステムの導入 ・デマンド 乗れない、予約できないという。増やすべき 予算は循環バス減便で ・自動運転バスを観光地以外の車の通りの少ない地域で導入
③	<ul style="list-style-type: none"> ・宿泊事業者はライドシェアドライバーが宿泊客を運送することでタクシー不足解消をはかる ・パーク&レールライドを徹底することはできるのか？（車場、希望地へのバス、電車の増便）→可能なのか ・鉄道乗り継ぎ改善の為 軽井沢⇄追分ピストン運行必要 ・自宅のテレビで運行状況が見られるようにする ・ 	<ul style="list-style-type: none"> ・自動運転バスで人材不足の解消 ・町がお金を出して○ ・バス、鉄道 自転車載せられるようにする
④	<ul style="list-style-type: none"> ・循環バスが、出発地から目的地まで現状の運行状況で何分で行けるのか google マップのような ・全バス停に屋根とイス設置 ・鉄道、バス、タクシー、レンタサイクル等すべて統一した電子決済 ・「つるや」の前のバス停は屋根がなく待ちあい客が大変。改善できるのでは 	

【議員グループ2】

目標	記載した対策事例の内容に対するご意見	記載した対策事例以外で追加を望むご意見
①	<ul style="list-style-type: none"> ・（バスの予算確保？）町内循環バス2分割案？ ・自動運転は？軽井沢駅→旧軽（三笠ホテル？）研究検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・広域連携が大事 例：御代田駅→佐久へ
②	<ul style="list-style-type: none"> ・部町外エリア デマンドで例：佐久医センターへ ・ドア to ドア 乗降スポットふやして 運動の大事 ・New シャトルタクシー 人手不足 ルートを決めてぐるぐるまわる 	<ul style="list-style-type: none"> ・3点セットで導入 公共ライドシェア、デマンドバス、巡回バス ・佐久医療センターへの行き方 ・町外にも行けるように新たなオンデマンド交通
③	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通で楽しむ軽井沢 PR「動画作成」 ・公共交通 路線図、時刻表の見える化 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用でポイントたまる ・企業のスポンサー募集→バス停整備に
④	<ul style="list-style-type: none"> ・雨にぬれないよう屋根の設置 事業者にも協力を ・大型商業施設にサイネージ置いてバスの運行状況を！ 	

2.2. 目標①～④の対策事例への要望

ワークショップでは、「参加者の普段の移動実態（休日の目的地・移動手段・時間帯など）」「手段などがなければ本当は行ってみたい目的地」「公共交通が使えていない理由」「あってほしい・改善してほしい公共交通」について、公共交通路線網を参考にしながら、白地図へ書き込む形で意見の抽出を行った。その際に白地図へ記入された実態・要望等は次のとおりである。

【議員グループ1】

記載した基本方針・目標以外で追加を望むご意見	今後の公共交通をどんな場面や頻度で使っていくか
<ul style="list-style-type: none"> ・人口2万の町、デマンド車両適切な台数は ・循環バス減便について調査したか ・路線を季節（住民向け、観光客向け）に分ける。夏以外は駅、病院、スーパーなどへ遠回りせずとも行けるルートを探る ・軽井沢町町外病院への通院調査がまず必要 ・都市計画を長期的俯瞰的視点で策定し直す→ゾーニングを視野に入れた多様な価値観を整理→立地適正化計画の策定 ・自動運転バスの国道運行 ・上信越自動車道にスマートIC ・「ドッグツーリズム」 犬も（ペットも）バスと一緒に乗れるようにしたら観光客も◎ 	

【議員グループ2】

記載した基本方針・目標以外で追加を望むご意見	今後の公共交通をどんな場面や頻度で使っていくか
<ul style="list-style-type: none"> ・E-bike 自転車でも町外へバス、電車に乗りたい！ ・町外も行けるようにデマンド交通を→当町のみのも問題でなく広域で考えるべき 	<ul style="list-style-type: none"> ・健康の向上 生活しているだけで健康になれる ・環境の向上 車両流入の減少 ・交流の拡大 メンタルも健康 ・「歩く」（歩道など） 質の高い歩行空間の整備 町民歩く→健康 観光客→歩くことで発見

2.3. ワークショップの成果



